

# 京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

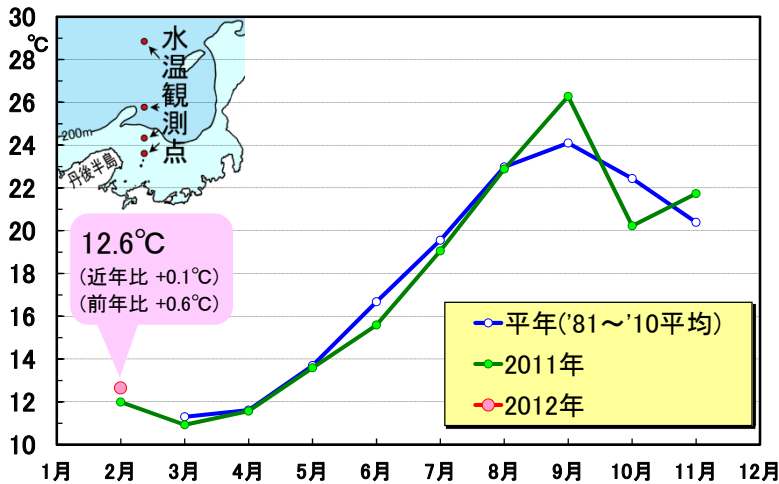
## 海の状況

### 【現況】

2月上旬における京都府周辺の表層水温は、ほぼ近年並み<sup>※</sup>で推移していました。

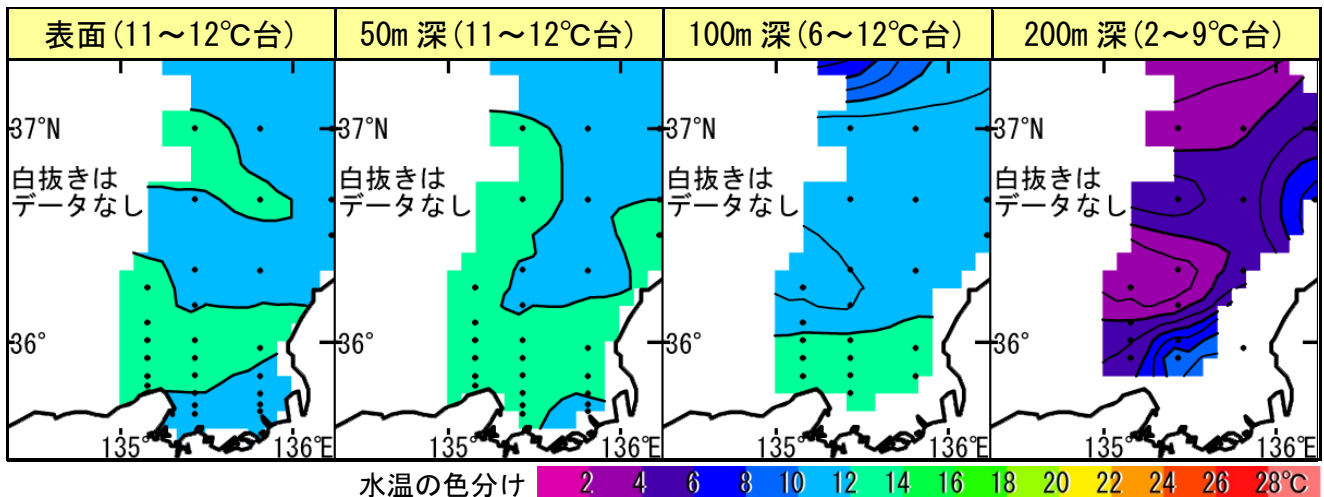
※過去 10 年間の平均値との比較です

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2012年2月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



### 【今後の見込み】

資料元：気象庁、(独)日本海区水産研究所

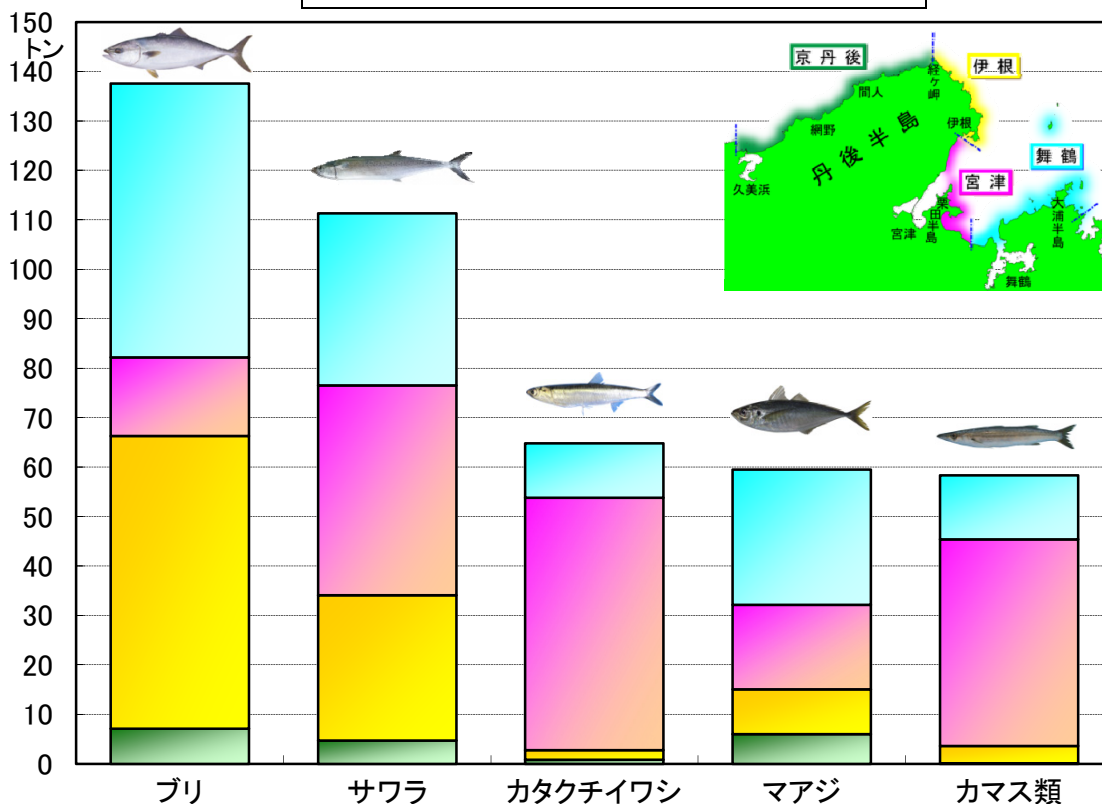
向こう 1 か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み」で推移する見込み

# 漁模様 ～2012年1月～

## 【定置網漁業】

全体の水揚量は平年の約8割でした。

2012年1月の地域別漁獲量(上位5魚種)



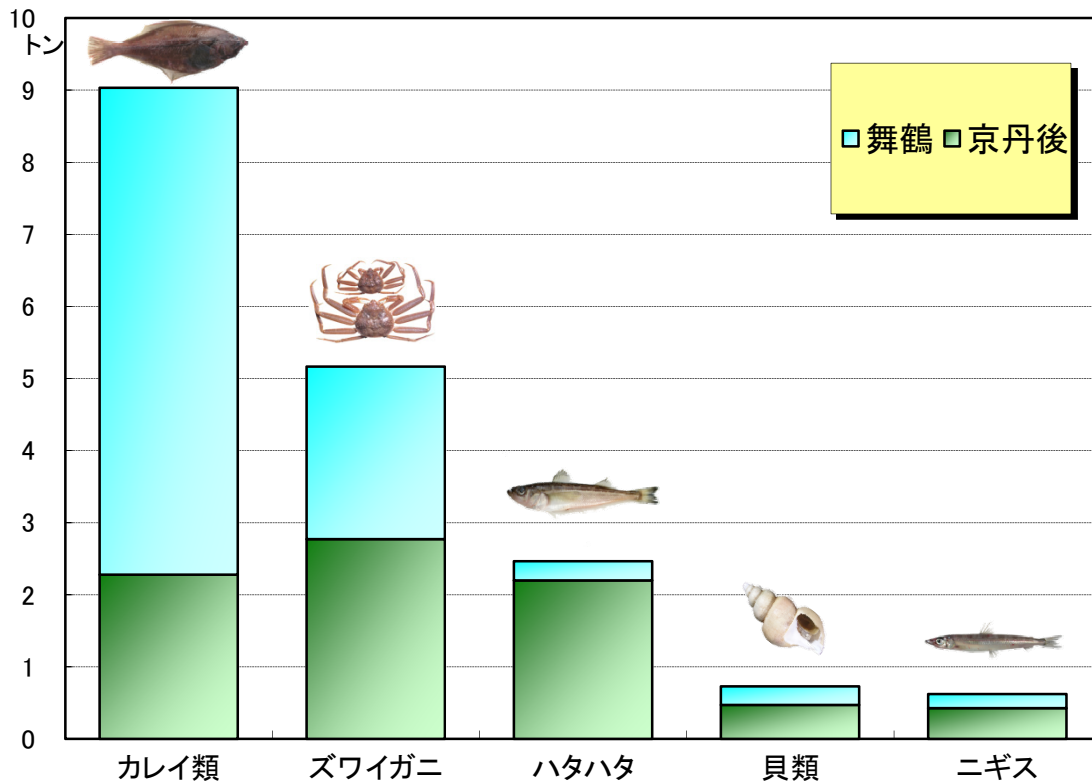
1月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2012年	2011年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	137.6	144.4 (95%)	104.2 (132%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 33～40cm 中心)が約9割でした。
サワラ	111.3	151.2 (74%)	111.9 (99%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 40～55cm 級)が8割弱, さわら銘柄(尾さ長 60～80cm 級)が2割強でした。
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	64.8	25.7 (252%)	78.1 (83%)	<カタクチイワシ> 小たれ(体長 4～7cm)が漁獲の中心でした。
マアジ	59.5	59.0 (101%)	92.8 (64%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が 17.8 トン, ヤリイカ(冬いか)が 10.2 トン, アオリイカ(秋いか)が 3.2 トン, ソデイカ(たるいか)が 2.7 トンなどでした。
カマス類	58.3	9.1 (643%)	10.5 (556%)	<マグロ類> よこわ銘柄が約5割, 中しび銘柄が4割強などでした。
イカ類	34.6	21.2 (163%)	30.2 (115%)	
マグロ類	13.4	8.4 (159%)	12.2 (110%)	
マルアジ <small>(青あじ)</small>	10.0	9.3 (108%)	25.4 (39%)	
スズキ	8.8	10.4 (85%)	7.5 (117%)	
ウマヅラハギ <small>(長はぎ)</small>	7.3	90.3 (8%)	59.5 (12%)	
その他	51.1	68.0 (75%)	145.6 (35%)	
合計	556.7	597.0 (93%)	678.0 (82%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

昨年1月と同様に漁獲機会に恵まれず、全体では平年の4割に満たない水揚げでした。

2012年1月の漁獲量(上位5魚種)



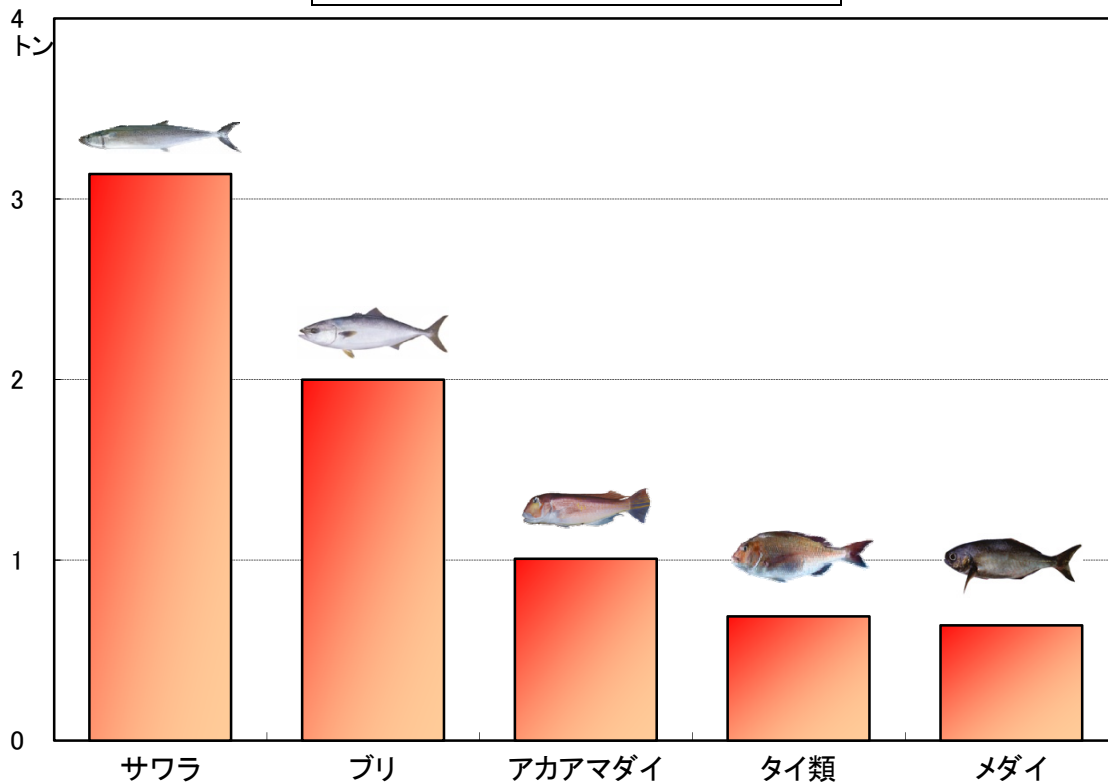
1月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2012年	2011年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	9.0	5.1 (177%)	16.7 (54%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が6.9トン、ヒレグロ(黒かれい)が1.3トン、ソウハチ(えてがれい)が0.7トンなどでした。 <ズワイガニ> オス(松葉がに)は3.3トン、1月上旬に終漁となったメス(こっぺ)は1.9トンでした。
ズワイガニ	5.2	1.8 (288%)	13.3 (39%)	
ハタハタ	2.5	—	18.9 (13%)	
貝類	0.7	0.4 (208%)	1.0 (74%)	
ニギス(沖きす)	0.6	0.2 (376%)	1.0 (61%)	
タコ類	0.5	—	1.5 (36%)	
タイ類	0.5	0.2 (257%)	0.4 (137%)	
エビ類	0.4	0.1 (401%)	1.1 (38%)	
タラ類	0.2	—	0.3 (73%)	
アンコウ	0.1	—	0.2 (54%)	
その他	2.4	0.2 (1467%)	3.4 (70%)	
合計	22.1	8.0 (275%)	57.8 (38%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は不漁だった前年の約 1.5 倍でしたが、平年と比べると 7 割弱でした。

2012 年 1 月の漁獲量(上位 5 魚種)



1 月漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2012 年	2011 年(前年比)	平年(平年比)	備考
サワラ	3.1	3.9 (80%)	2.1 (149%)	<サワラ>
ブリ	2.0	0.8 (247%)	6.5 (31%)	さごし銘柄が 8 割弱、さわら銘柄が 2 割強でした。
アカアマダイ <small>(ぐじ)</small>	1.0	0.2 (481%)	1.1 (90%)	<ブリ類>
タイ類	0.7	0.4 (193%)	1.0 (66%)	はまち銘柄が 6 割強、まるご銘柄が 2 割強などでした。
メダイ <small>(たいしゅうお)</small>	0.6	0.4 (168%)	1.7 (38%)	<アカアマダイ>
イカ類	0.6	0.3 (214%)	1.3 (46%)	体長 25~35cm 主体でした。
マアジ	0.6	0.4 (137%)	0.5 (106%)	<タイ類>
マルアジ <small>(青あじ)</small>	0.4	—	—	メダイが 6 割強、レンコダイが 3 割強などでした。
メバル類 <small>(もいお)</small>	0.4	0.1 (425%)	0.3 (153%)	<イカ類>
ウマヅラハギ <small>(長はぎ)</small>	0.4	—	0.1 (297%)	ケンサキイカ(白いか)とヤリイカ(冬いか)が各 0.3 トンなどでした。
その他	0.9	0.6 (162%)	1.1 (84%)	
合計	10.9	7.1 (153%)	15.9 (68%)	

平年は過去 10 年平均